$\stackrel{41}{\boxtimes}$ One [ワン] 発音注意

1、1つ、1人 1つの、1人の、ある~ それ、もの、人、~の1つ

同音語:won (win 「勝つ」 の過去形・過去分詞形)

a (an) と **one** は、ほぼ同じ意味だが 『1つ』、『1人』という意味を特に 強調したいときには one を使う。

**one** of ~s 『~の1つ[1人]』

※ この one は、名詞とする解釈と 代名詞とする解釈の2つがある。

one of the boys

『その少年たちの1人』

one of them 『彼らの1人』 one of my feet 『私の片足』

※ feet は foot [ふット] の複数形

one day 『ある日』

one Sunday morning

『ある日曜の朝に』

one … 前に出た名詞の繰り返しを 避けるために使う語。 前出の名詞と同じ種類の もの[同名異物]を指す。

it … 前に出た名詞そのものを指す。

※ first「1番目(の)、第1日」→【単語帳 No. 309】

The game will start at one. 『その試合は1時に始まります。』 Open your books to page one.

『(あなたたちの)本の1ページを開きなさい。』

I have <u>one</u> [a] son. 『私には息子が1人います。』 This pen is <u>one</u> [a] hundred yen.

『このペンは100円です。』

He has a bike. 『彼は(1台の)自転車を持っています。』

 $\rightarrow$  ① I want it. / ② I want one. 『私はそれが欲しい。』

※ ①、②の日本語訳は同じだが、①は「彼が持っている自転車そのもの」を、 ②は「自転車(というもの)…自転車という名前で彼の持っているものとは 異なるもの」が欲しいという内容になる。

My car is very old. I want a new one (= car).

『私の車はとても古いです。私は新しいのが欲しいです。』

The pencil is longer than that one (= pencil).

『そのえんぴつはあれより長いです。』

He is one of my children. 『彼は私の子供の1人です。』

one after another 『次々に、次から次へと』 one another 『おたがいに[を]』(= each other)

**one** …, the other ~ 『(2つのうち) — 方は…、もう一方は~』

no one ~ 『だれも~ない』(= nobody [ $\checkmark$ ウバディ]  $\rightarrow$  [No. 755])

No one [Nobody] knows him. 『だれも彼を知りません。』

※ no one, nobody は3人称・単数あつかい。 口語では nobody のほうがよく使われる。

but 「バット」 発音注意

しかし、でも

~ をのぞいて (= except [イク**セ**プト])

Excuse me,  $(but) \sim ...$ 

『<u>すみませんが</u> [失礼ですが]…。』

not ~ **but** … 『~ではなくて…』

not only ~ **but** (also) ...

『~だけではなく…も(また)』

**but** for ~ (= without ~)

『~がなければ』

anything but ~

『~のほかなら何でも』

nothing **but** ~ (= only ~)

『ただ~だけ』

※『(野球の)バット、コウモリ』は どちらも bat と書き、[バぁット] と発音する。

I like math, but Tom doesn't like it.

『私は数学が好きですが、トムはそれが好きではありません。』

The man was old **but** (he was) very strong.

『その男性は年をとっていたが、(彼は)とても力が強かった。』

Excuse me, (but) could you tell me

the way to the station?

『すみませんが、駅までの道を私に教えていただけませんか?』

That baby is not a boy **but** a girl.

『あの赤ん坊は男の子ではなく女の子です。』

But for your help, I couldn't finish the work.

『あなたの助けがなかったら、

私はその仕事を終えることができませんでした。』

I'll do anything but that.

『私はそのほかのことなら何でもします。』

He is nothing **but** a child. 『彼はほんの子供にすぎない。』

© 英語ブロック 2009 (http://eigoblock.com/) [編集·加工·販売等を禁じます]

# his [LX]

|代| 彼の ≪he の所有格≫ (⇔ her) 彼のもの 《he の所有代名詞》  $(\Leftrightarrow hers)$ 

同じつづりなのに、なぜ意味・用法 がいくつもあるのでしょうか?

日本語でも『たいしょう』、『はし』 など、同じ発音なのに異なる意味 を持つ語がたくさんあります。

また、日本語の助詞『は、が、を』 などにも、「時」・「場所」をあらわす など、いろいろな用法があります。

言語というものは、ひとつの語に 効率的にさまざまな意味や用法を 持たせ、その結果、膨大な語数に なってしまうのを防いでいます。

**His** mother is a teacher. 『彼のお母さんは先生です。』

Emi is **his** sister. 『エミは彼の妹です。』

Is that **his** house? 『あれは彼の家ですか?』

→ Yes, it is. It's his house [his]. ※ [his] は所有代名詞 『はい、そうです。それは彼の家[彼のもの]です。』

The notebook is **his** (= **his** notebook).

『そのノートは彼のものです。』 ※ his notebook の his は所有格。

Meg is a friend of his. 『メグは彼の一(いち)友人です。』

Is this Tom's bike? 『これはトムの自転車ですか?』

→ Yes, it is. It's his (= his bike). ※ his bike の his は所有格 『はい、そうです。それは彼のものです。』

### her [//~]

彼女の ≪she の所有格≫ (⇔ his) 彼女を、彼女に ≪she の目的格≫ (⇔ him)

☆ 見た目は同じだが、複数の意味を持つ語

you … あなたは[が]、あなたを[に] あなたたち<u>は</u>[が]、あなたたち<u>を</u>[に]

your … あなたの、あなたたちの

yours … あなたのもの、あなたたちのもの

his … 彼の、彼のもの

her … 彼女の、彼女を、彼女に

**Her** name is Aki. 『彼女の名前はアキです。』 I know her father. 『私は彼女の父を知っています。』

Meg has a book in her hand.

『メグは(彼女の)手に(1冊の)本を持っています。』

Do you know her? 『あなたは彼女を知っていますか?』

 $\rightarrow$  Yes (. I do). I know her well.

『はい(、知っています)。私は彼女をよく知っています。』

I got a letter from **her**.

『私は彼女から(1通の)手紙をもらった。』

Mr. Hara taught her Japanese [Japanese to her].

『原先生は彼女に日本語を教えました。』

※ かんたん英文法【第3文型と第4文型】も参照のこと。

人称・ 単数 or 複数	主格 「~は/が」		所有格 「~の」		目的格 「~を/に」		所有代名詞 「~のもの」	
1.単	I	[アイ]	my	[マイ]	me	[≋−]	mine	[マイン]
2.単	you	[ユー]	your	[ユア]	you	[ユー]	yours	[ユアズ]
3・単	he	[ヒー]	his	[ヒズ]	him	[ヒム]	his	[ヒズ]
	she	[シー]	her	[/\~]	her	[/\~]	hers	[ハ〜ズ]
	it	[イット]	its	[イッツ]	it	[イット]	_	<u> </u>
1 · 複	we	[ウィー]	our	[ <b>ア</b> ウア]	us	[アス]	ours	[ <b>ア</b> ウアズ]
2·複	you	[ユー]	your	[ユア]	you	[ユー]	yours	[ユアズ]
3·複	they	[ゼイ]	their	[ゼア]	them	[ゼム]	theirs	[ゼアズ]
ポイント	文の主語 になる		名詞の前 に使う		動詞・前置詞の 後ろに使う		所有格 + 名詞に 書き換え可	

☆ 同じ色のものは、見た目は同じでも、意味·用法が異なるので注意!

<sup>45</sup> ⊠ to [トゥー]

前~へ、~に、~まで

≪to+動詞の原形で≫ 不定詞を作る語

同音語: two (2)、too (~もまた)

go to school 『学校へ行く』
listen to music 『音楽を聞く』
from ~ to … 『~から…まで』
to one's surprise 『驚いたことに』
※ one's の部分には所有格が入る。
to tell the truth 『真実を言うと』

≪to + 動詞の原形で≫【不定詞(1)】

- ① ~すること
- [名詞用法]
- ② ~するために、~して [副詞用法]
- ③ ~するための、~すべき [形容詞用法]☆ かんたん英文法 【不定詞①】参照。

≪ 疑問詞 + to ~ で≫【不定詞(2)】

how to ~ 『~の仕方、~の方法』

who **to** ~ 『だれ<u>を</u>[に]~すべきか』

what **to** ~ 『何を~すべきか』

where to  $\sim$  『どこ $\wedge$ [で] $\sim$ すべきか』

when to ~ 『いつ~すべきか』

which (名詞) to ~

『どちら(の 名詞)を~すべきか』

※ why を使った用法はない。

☆ かんたん英文法【不定詞(2)】参照。

It is ~ (for 〔人〕) **to** …. 【不定詞(3)】 『(〔人〕にとって) …するのは~だ。』 ※ for 〔人〕の部分がない英文もある。 I go **to** school by bike. 『私は自転車で学校へ行きます。』 Let's listen **to** music. 『音楽を聞きましょう。』

May I speak to Emi, please?『エミをお願いします。』[電話で] Turn (to the) right at the next corner.

『次の角で右に曲がりなさい。』

It's five to nine. 『9時5分前です。/ あと5分で9時です。』 China is to the west of Japan. 『中国は日本の西のほうにある。』 The library is open from nine to six.

『その図書館は9時から6時まで開いています。』

動詞 [物] to [人] 『[人] に [物] を 動詞 する』

Please give the book **to** me. 『その本を私にください。』 = Please give me the book.

※ 上は第3文型、下は第4文型の文。動詞が give, show, teach, tell などの文では to を使う。最下部の説明も参照のこと。

≪不定詞(1)…①②③≫ … くわしくは【かんたん英文法】参照のこと。

I like to swim.

= I like swimming. 『私は泳ぐのが好きです。』

They went to the park to play soccer.

『彼らはサッカーをするためにその公園へ行きました。』

I'm happy to hear that. 『私はそれを聞いてうれしいです。』

Tom wants something to drink.

『トムは何か飲むもの(←飲むための何か)を欲しがっています。』

≪不定詞(2)≫ … くわしくは【かんたん英文法】参照のこと。

I know how to swim. 『私は泳ぎ方を知っています。』

≪不定詞(3)≫ … くわしくは【かんたん英文法】参照のこと。

It is difficult for me to read the book.

『私にとってその本を読むのは難しい。』

≪第3文型と第4文型≫ ☆ かんたん英文法も参照のこと。

○ 第3文型 … 主語 + 動詞 + 目的語 から成る文。(…それ以外の語句は意味を付け加えるおまけの語)

○ 第4文型 … 主語 + 動詞 + 目的語『~に』【人】 + 目的語『…を』【物】から成る文。

動詞 [物] to [人] 『(人) に [物] を 動詞 する』

Please teach English to me. …【第3文型】

= Please teach me English. …【第4文型】

- ① 動詞がgive, show, teach, tell などの文では to を使う。
- ② **動詞がbuy, make, get, cook, choose, find のときは for を使う。** 中学生は buy, make をまず優先的に覚えましょう。

≪to と for の使い分け≫

『与える』『教える』など、 2人以上の人がいないと その動作をできないとき には to、『買う』『作る』 など、1人でできる動作 のときには for を使う。

for [ふォー(ァ)]

前~のために、~に向かって ~に対して、~と交換に ~の間、~にとって ~に賛成して (⇔ against) ~のわりには

同音語: four (4)

for an hour [a week/a month] 『1時間[1週間/1ヵ月間]』

> ※ a, an の代わりに one を 使っても同じ意味になる。

for two weeks [three months] 『2週間[3ヶ月間]』

for a few minutes 『2、3分間』 for a long time 『長い間』

go (out) for a walk 『散歩する』 leave **for** ~ 『~へ(向けて)出発する』 Thank you for coming.

『来てくれてありがとう。』

Thank you for inviting me.

『私を招待してくれてありがとう。』

for example 『例えば』 for the first time 『初めて』 for ever = forever [ふオ**れ**ヴァ] 『永遠に、永久に』

**for** her age 『彼女の年のわりには』

This is a present for you. 『これはあなたへのプレゼントです。』 Take the train for Tokyo. 『東京行きのその電車に乗りなさい。』

☆ 動詞 (物) for (人) 『(人) に (物) を動詞する』

Please make lunch for me.

= Please make me lunch. 『私に昼食を作ってください。』

My mother bought a book for him.

= My mother bought him a book.

『私の母は彼に(1冊の)本を買いました。』

※ それぞれ、上が第3文型で、下が第4文型の文。 第3文型の文で、動詞が buy, make, get, cook, choose, find のときには to ではなく for [A] になる。  $\rightarrow$  【単語帳 No.45… to】

※ かんたん英文法【第3文型と第4文型】も参照のこと。

I watched TV for an hour. 『私は1時間テレビを見ました。』 He has lived in this town for five years. 【現在完了形の文】 『彼は5年間この町に住んでいます。』

It's easy for him to answer the question.

『彼にとってその質問に答えるのはかんたんです。』

Are you **for** or against my plan?

『あなたは私の計画に賛成ですか、それとも反対ですか?』

Meg left (Narita) for London yesterday.

『メグは昨日ロンドンへ向けて(成田を)出発しました。』

Tom bought this dictionary for two thousand yen.

『トムはこの辞書を 2,000 円で買いました。』 ※ この for は「~に対して、~と交換に」の意味。

after [あフタァ] (⇔ before)

~のあと、~を追って ~したあとで

after school 『放課後』 after dinner 『夕食後』 after all 『結局、やはり』 run after ~ 『~を追いかけ(て走)る』 **After** you. 『お先にどうぞ。』 ※ 道や順番をゆずるときに使う表現。 one after another 『次々に』

→【単語帳 No. 631 ··· another】

the day after tomorrow 『あさって』

**after**「~のあとに」、before「~の前に」 は≪時・時間≫に関する用法で使う。

※ ≪場所・位置≫について言うときには in front of ~「~の前に、正面に」、 behind ~ 「~の後ろに」などを使う。 Repeat after me. 『私のあとについて繰り返しなさい。』 He ran after the dog. 『彼はその犬を追いかけ(て走り)ました。』 Eat lunch after washing your hands. ... ①

= Eat lunch after you wash your hands. ... ②

『手を洗ってから昼食を食べなさい。』

※ ①の文のafterは前置詞。直後には動名詞を使っている。 ②の文のafterは接続詞なので、直後には≪主語+動詞≫の文が続く。

☆ after を使った文は、ふつう before を使った文に書き換え可。

①の書き換え … Wash your hands before eating lunch. ②の書き換え ··· Wash your hands before you eat lunch. 『昼食を食べる前に手を洗いなさい。』

◎ 《時·条件》を表す副詞節の文では、未来のことも現在形で表す。 上の②の書き換えの文と、下の英文を参照のこと。

→ さらにくわしくは かんたん英文法 【時・条件を表す副詞節】

Let's go out after he gets here.

『彼がここに着いてから出かけましょう。』

 $\frac{48}{\boxtimes}$ in [ィン]

> 前 ① ~の中に、~の中で、~の中の ② ~に、~の【時に関する語の前で】

中へ、中に (⇔ out)

in the morning 『朝に、午前中に』 in the [ズィ] afternoon 『午後に』 in the [ズィ] evening

『夕方に、晩に』

※「正午に」は at noon 「夜に」は at night

in March 『3月に』

※ 特定の日のときは on を使う。

例 on March 3 『3月3日に』

in summer 『夏に』

in 2009 『2009年に』

in (easy) English

『(かんたんな)英語で』

in my opinion 『私の意見では』

in front of ~ 『~の前に[正面に]』

in ten minutes [an hour]

『10分[1時間]すれば、経てば』

I live in Tokyo. 『私は東京に住んでいます。』

I'm in (the) seventh grade. 『私は中学1年生です。』

※ アメリカでは小学校から高校までを通しで考える。

There are five (people) in my family. 『私は5人家族です。』

What's in that box? 『あの箱の中には何が入っていますか?』

My mother is **in** the kitchen. 『私の母は台所にいます。』

The sun rises in the east and sets in the west.

『太陽は東からのぼり西に沈む。』

※ 日本語訳は『~から』、『~に』だが、英語ではどちらも in を使う。

There are seven days in a week. 『1週間は7日です。』

Write this letter **in** English. 『英語でこの手紙を書きなさい。』 He will come here in an hour.

『彼は1時間すればここに来るでしょう。』

※ アメリカでは within 『~以内に』とほぼ同意で使われることもある。

Please come in. 『(部屋の中に)入ってください。』

May I come in? 『(部屋の中に)入ってもいいですか?』

※ これらの表現では、相手の立場になって come を使う。(go ではない!)

I'm coming now. 『今(あなたのほうへ)行きます。』

 $\stackrel{49}{\boxtimes}$ **O**『オーア』

~かまたは…、それとも

※ ~と…が同等のものの場合、 or の前にある語は上げ調子で うしろの語は下げ調子で読む。

> ≪命令文, or … の形で≫ そうしないと、さもないと

比較 《命令文, and … の形で》  $\overline{\mathcal{C}}$ うすれば → [No. 5 ··· and] Do you like baseball **or** soccer?

 $(\checkmark)$ 

『あなたは野球が好きですか。それともサッカーが好きですか?』

Which do you like better, summer or winter?

(7)

『あなたは夏と冬とではどちらが好きですか?』

※ Yes, Noでは答えられない質問なので、better は下げ調子で読む。

 $\rightarrow$  I like summer better (than winter).

『私は(冬より)夏が好きです。』

Hurry up, or you will be late for school.

『急ぎなさい。そうしないと学校に遅れますよ。』

50 with [ウィザ]

前 ~といっしょに、~を持って (⇔ without)

~を使って、~で

~に関して、~しながら

with a smile 『ほほえんで』 a girl with long hair [blue eyes]

『長い髪の[青い目の]女の子』

with care = carefully 『注意深く』 with pleasure 『よろこんで』

I agree with you. = I'm with you. 『私はあなたに賛成です。』 Come with me. 『私といっしょに来なさい。』

I live in Osaka with my family.

『私は家族といっしょに大阪に住んでいます。』

Look at that girl with long hair. 『あの髪の長い女の子を見て。』

I have no money with me. 『私はお金を持ち合わせていません。』

Write with a pencil, please. 『えんぴつで書いてください。』

What's wrong [the matter] with you? 『どうしたの?』

※ 具合や調子が悪そうな人や、困っている様子の人に対して言う。 くわしくは【単語帳 No. 51 … what】を参照のこと。

Don't speak with your mouth full.

『口の中を食べ物でいっぱいにして話してはいけません。』

© 英語ブロック 2009 (http://eigoblock.com/) [編集·加工·販売等を禁じます]